

寄贈品の紹介

恩納村内の方より博物館に寄贈いただいた資料を紹介します。

1点目は太田区の方より寄贈していただいたラジオです。このラジオは「SHARP」製で本体が真っ赤な見た目をしており、とても派手な外見をしているのが特徴です。大きさは幅27cm、奥行き8.5cm、高さ15.5cmほどです。本土復帰前の1967年頃にコザのゲート通りにあった質屋から購入したとのことでした。寄贈者が学生アルバイトをして貯めたお金で購入したそうですが、本土復帰前だったので、ドルで支払いをしたという体験談を語ってくれました。驚くことに現在も使用できる状態であり、博物館で試したときには現代のラジオと遜色なく番組を聞くことができました。

2点目も同じくラジオです。塩屋区の方より寄贈していただきました。こちらは「SANYO」製のラジオです。「TR RADIO」というエンブレムが付いており、真空管ではなくトランジスタが内蔵されたラジオのようです。1963年頃に手に入れたそうですが、このラジオで1964年に開催された東京オリンピックの放送を聞いたという思い出を話してくれました。

寄贈いただいた資料は今後の新収蔵品展などでお披露目したいと思っています。最後になりましたが、資料をいただいた皆様に感謝申し上げます。



SHARP製ラジオ



SANYO製ラジオ

企画展「恩納村の稲作」開催のお知らせ

博物館では企画展「恩納村の稲作」を開催します。現在、沖縄本島内での稲作は限られた地域でのみ行われていますが、恩納村の安富祖区もそのひとつです。展示会では村内で行われている稲作について紹介します。また、合わせて、稲作に関連した体験会も開催しますので、この機会にぜひご来場ください。

開催日時 1月12日(木)～2月12日(日)

展示会場 恩納村博物館2階企画展示室

開館時間 9:00～17:00(最終入館は16:30まで)

入館料 無料

休館日 毎週月曜日



関連イベント

「お米の脱穀と精米体験会」

足踏み式脱穀機での脱穀と瓶を使った精米を行います。

開催日時 1月22日(日) 10:00～11:00 / 14:00～15:00

参加費 無料

※稲の量に限りがありますので、無くなり次第終了。

- 新型コロナウイルスの感染状況によって、展示会やイベントの変更、中止の場合があります。最新の情報は、恩納村博物館ホームページ、Facebookをご確認ください。

随時受付